

安倍政権 倒そう

未来に「共謀罪」いらぬ

強行に抗議



市民と野党の声を無視して自民、公明、維新が強行成立させた共謀罪。「強行されても終わらない」。『未来のための公共』（未来公共）は15日夜、国会正門前抗議を行いました。参加者は「共謀罪は今すぐ廃止」とコール。未来公共は、「次の国政選挙で共謀罪を廃止させる。安倍政権を退陣に追い込む。これは新しい『始まり』です」と訴えました。

『共謀罪』は今すぐ廃止」とコールする人たち=15日、国会正門前

未来公共

15日夜は、「総がかり行動実行委員会」と「共謀罪NO！実行委員会」の集会を引き継いで行われました。抗議の冒頭、マイクを握った、未来公共の中山美幸さん(22)は「私たちの未来に共謀罪はいりません。これからも」と語りました。

6/16 五ノ巻

声をあげ続けましょう」と呼びかけ、「現代の治安維持法廃止」「告げ口勧める法律いらぬ」とコールしました。

授業を終えて抗議に参加した都内の大学生、神宮寺博基さん(28)は「こんでもない法律が、とんでもないやり方でできた。許せないから意思を示してきました。一人では政府を止められないが、みんなとなら変えられると信じて声をあげます」と語りました。

「安全保障関連法に反対する学生の声」呼びかけ人の水島朝穂さん(早稲田大学教授)がスピーチ。民進党の初鹿明博衆院議員、日本共産党の山添拓参院議員が訴えました。

共謀罪をめぐる国会最終盤を迎え、与党が異常な「禁じ手」も使って強行採決の流れを加速させました。

これに対し、「やらないと絶対後悔する」「一人でも国会前に立つよ」。未来公共のメンバーは10〜20代の若者を中心。学校やアルバイトの合間にラインなどで連絡を取り合い、連日、緊急抗議を呼びかけました。

緊迫する14日の午後7時半から始まった未来公共の国会正門前抗議は15日の午前0時まで及び、7000人(主催者発表)が反対の声をあげ続けました。4野党の代表が情勢報告に来ると、参加者から「野党がんばれ」のコールが自然におきました。

メンバーで大学2年生の谷虹陽さん(20)は、抗議の後一度家に帰り、始発で強行採決が目前に迫った15日早朝の国会前に足を運びました。これで終わりにありません。できることをやっています」

6/16 五 旗



「共謀罪」法に反対する声を上げる人たち＝15日、国会正門前

国会私物化 監視国家だ

国会前行動

5月9日から連日、共謀罪反対の行動を国会前で続けてきた「共謀罪NO」実行委員会と「総がかり行動実行委員会」は15日、昼と夜に、こん身の怒りを込めて国会前行動に取り組みました。夜は約500人（主催者発表）が参加しました。昼の行動では米倉洋子弁護士が、参院委員会採決を省くやり方について「災害など緊急時に国民の権利を守るための方法。今回は安

倍政権の加計（かけ）森友疑惑追及を封じるためのもので権力による国会の私物化だ」と強調。清水雅彦（日本体育大学教授）が、安倍政権は福祉を縮めて競争する国づくりを進める。新夜總會国家だと批判。出版労連の前田龍成主任研究員が著作権の点から共謀罪の危険性を指摘しました。

14日から抗議を続ける人、遠方から駆け付けた人たちが国会前を埋めました。徹夜で抗議を続ける東京都千代田区の土井登美江さん

（70）は「多数だから何をしてもいいわけではない。民主主義のかけらもない」。新潟県糸魚川市から参加した神鳥古賢（かんどり・こさん）さんは「犯罪的なのは『共謀罪』で監視、盗聴社会をつくる安倍政権。打倒が一番だ」と話しました。

この日の行動には日本共産党の山下芳生副委員長、参院議員、武田良介、山添拓海参院議員が参加。「安倍政権打倒」「共謀罪」廃止へ力を合わせよう」と訴えました。

変わらず運動



那覇

那覇市の沖縄県庁前
県民広場で15日、「共

謀罪」法を訴え抗議集会に集まった人たち＝15日、那覇市の県民広場

こう。たたかいはこれから、たたかいはこれからだ」と訴えました。会場からは「安倍政権の終わりの始まりの日じよう」などの声があがりました。

辺野古の盛り込みに参加している那覇市の大城博子さん（66）は前日、数十人の仲間と座り込んで工事車両を引き寄せました。

「県民の運動には力がある。それを罪に引っ掛けようものなら、さらに世論を上げてたかうだけ。どんな法律ができれば、あきらめない私たちの運動は変わりませぬ」と語っていました。

日弁連、廃止求め声明

「共謀罪」法の強行成立に際し日本弁護士連合会（中本和洋会長）は15日、「恣意（しい）的に運用されることがないよう注視し、全国の弁護士会および弁護士連合会とともに、同法律の廃止に向けた取り組みを行う」とする会長声明を発表しました。

声明は「共謀罪」法について「我が国の刑事法の体系や基本原則を根本的に変更するという重大な内容である」と指摘。参院委員会の採決が省略された手法にも「異例な手続を経て成立に至ったことは極めて遺憾」と主張しています。



「共謀罪」に抗議してデモ行進する人たち 15日、長野県松本市

たたかいたいからここに

市民はだまされない

■長野・松本

長野県松本市の松本駅前広場で15日、「共謀罪」法強行に抗議する緊急集会・デモ行進が行われ、市民ら150人が「共謀罪は人権侵害。自公は恥を恐れ」などと声を上げました。

安保法や秘密保護法などに反対してきた幅広い立場の市民団体や労働組合などでつくる「ストップ共謀罪 松本共同行動」が呼びかけたもの。

安藤雅樹弁護士は集会で、「共謀罪」が一般人を対象にしないといふことにはだまされてはいけなるとし、「政府にもこの市民を萎縮させるのが目的だ」と批判しました。

政党からは日本共産党の清沢たつや衆院2区候補らが連帯あいさつしました。

集会に参加した松本地区労連の島田久雄議長は、「保守の人の中でも戦争だけはだめだ」という人がいる中で安倍首相は本気で戦前回



「共謀罪」強行の暴挙に抗議する弁護士ら=15日昼、札幌市

■札幌

参院本会議で「共謀罪」が強行された暴挙

帰の野望を何か何でもやる気だと、あらためて思い知った」とし、要だ」と述べました。

あきらめず声あげよう

に抗議し、札幌弁護士会(大川哲也会長)は15日昼、JR札幌駅近くで宣伝しました。

20人を超える弁護士や法律事務所職員らが、「札幌弁護士会は『テロ等準備罪』共謀罪」の制定に反対します」の横断幕を掲げ、リーフを配りました。

マイクを握った札幌弁護士会共謀罪法案対策本部の川上有本部長代行は「共謀罪」は、憲法で保障する内心の自由を処罰する法律。日常行為を取り締まるため捜査手法が拡大することは明らかで、対

集会後、参加者は駅周辺をデモ行進しました。

象は私たち一般市民です。廃止へ新たなたたかいは始めよう」と呼びかけました。

弁護士登録をして半年という柳井妙子弁護士は「私たちの自由を奪おうとする『共謀罪』に、主権者一人ひとりが反対の声をあげましょう。自由で豊かな社会で生き続けるため、あきらめることなく声をあげ続けましょう」と訴えました。

通りがかった男子高校生たちが「一般市民を取り締まる怖い法律だね」と話しました。宣伝終了後、川上氏は「まともに説明もせず答えられない政府が強行するのは議会制民主主義の否定につながる。『共謀罪』の内容を見ると、史上最悪の法律で、日本の将来を左右する」と語りました。